



## 2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年6月11日

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所 東  
 コード番号 2978 URL https://tsukuruba.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 村上浩輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 小池良平 (TEL) 03-4400-2946  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年7月期第3四半期の業績 (2019年8月1日~2020年4月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	1,436	32.3	△32	-	△38	-	△91	-
2019年7月期第3四半期	1,085	-	11	-	6	-	6	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年7月期第3四半期	△10.02		-					
2019年7月期第3四半期	0.80		-					

- 2019年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式が非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
- 2020年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
- 当社は、2019年5月8日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年7月期第3四半期	百万円 2,181	百万円 1,414	% 64.8
2019年7月期	1,869	1,475	78.9

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 1,413百万円 2019年7月期 1,473百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	-	-	-	0.00	0.00
2020年7月期	-	0.00	-	-	-
2020年7月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年7月期の業績予想 (2019年8月1日~2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	8.9	△285	-	△290	-	△372	-	△40.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年7月期の業績予想については、本日(2020年6月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年7月期3Q	9,793,700株	2019年7月期	9,331,700株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年7月期3Q	335,600株	2019年7月期	335,600株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年7月期3Q	9,144,480株	2019年7月期3Q	7,856,972株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的に景気が急速に悪化しました。特に、2020年3月以降は、当社の事業にも影響を及ぼし始めました。

このような中、国内不動産市場は、2020年4月において、首都圏中古マンション成約平米価格が前年同月比4.5%下落し、首都圏中古マンションの成約件数も前年同月比52.6%下落するなどの影響がありました。(公益財団法人東日本不動産流通機構「月例速報Market Watchサマリーレポート2020年4月度」(最終閲覧日2020年5月28日) <http://www.reins.or.jp/library/2020.html>)

このような経済環境のもと、当社は、お客様・お取引先様及び社員の安全と健康を第一に考え、従業員に対する外出自粛要請や一部営業停止措置を行う一方で、主力事業であるcowcamo(カウカモ)事業においてはオンラインセミナー・座談会・個別相談などの営業のオンライン化などの施策を中心に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,436,022千円(前年同期比32.3%増)、営業損失は32,880千円(前年同期は営業利益11,487千円)、経常損失は38,354千円(前年同期は経常利益6,832千円)となりました。また、オフィス一部解約による減損損失等による特別損失を41,668千円計上し、四半期純損失は91,632千円(前年同期は四半期純利益6,315千円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① cowcamo(カウカモ)事業

当セグメントにおきましては、主にリノベーション住宅のオンライン流通プラットフォームcowcamoの運営を通じて、リノベーション住宅の仲介を行っております。当事業に係る外部環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛要請、これに伴う一部営業停止等により、短期的には大幅な成約件数の減少などが見られます。

このような環境のもと、当社としては、オンラインセミナー・座談会・個別相談などのオンライン化施策を速やかに実施し、新型コロナウイルス感染症の業績への影響の限定に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,162,242千円(前年同期比25.7%増)、セグメント利益は305,834千円(前年同期比22.0%増)となりました。

#### ② シェアードワークプレイス事業

当セグメントにおきましては、主にオフィス設計を中心とした設計・空間プロデュースの受託事業並びにコワーキングスペース・ワークプレイスレンタルサービスの運営事業から構成されております。当事業に係る外部環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛要請による在宅勤務の導入、これに伴う一部営業停止等により、オフィス需要の減少等がみられました。

このような環境のもと、当社は、オンラインでのコワーキングスペースコミュニティの交流施策を行うなどにより、新型コロナウイルス感染症の業績への影響の限定に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は273,780千円(前年同期比70.2%増)、セグメント利益は34,588千円(前年同期比115.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末の資産合計は2,181,710千円となり、前事業年度末と比較して312,648千円の増加となりました。これは主に、賃貸用不動産の取得があり、有形固定資産が281,400千円増加したこと等によるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債合計は767,197千円となり、前事業年度末と比較して373,326千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金がそれぞれ52,248千円、167,121千円増加し、1年内償還予定の社債及び社債がそれぞれ40,000千円、160,000千円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は1,414,513千円となり、前事業年度末と比較して60,678千円の減少となりました。これは、四半期純損失91,632千円の計上により利益剰余金が91,632千円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年6月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,420,974	1,466,158
売掛金	54,487	31,312
仕掛品	2,261	3,776
その他	30,569	31,463
貸倒引当金	△2,800	△1,800
流動資産合計	1,505,492	1,530,910
固定資産		
有形固定資産	80,254	361,654
無形固定資産		
ソフトウェア	127,827	167,210
無形固定資産合計	127,827	167,210
投資その他の資産		
敷金及び保証金	88,702	102,155
その他	66,785	19,779
投資その他の資産合計	155,488	121,934
固定資産合計	363,570	650,800
資産合計	1,869,062	2,181,710

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	64,540	116,788
1年内償還予定の社債	-	40,000
未払金	74,020	55,742
未払法人税等	17,886	6,677
その他	113,385	86,455
流動負債合計	269,832	305,663
固定負債		
長期借入金	116,340	283,461
社債	-	160,000
その他	7,697	18,072
固定負債合計	124,037	461,533
負債合計	393,870	767,197
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	594,505	609,982
資本剰余金	1,307,099	1,322,576
利益剰余金	△365,266	△456,899
自己株式	△62,421	△62,421
株主資本合計	1,473,916	1,413,237
新株予約権	1,276	1,276
純資産合計	1,475,192	1,414,513
負債純資産合計	1,869,062	2,181,710

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年8月1日 至2019年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年8月1日 至2020年4月30日)
売上高	1,085,826	1,436,022
売上原価	352,478	453,189
売上総利益	733,348	982,833
販売費及び一般管理費	721,860	1,015,713
営業利益又は営業損失(△)	11,487	△32,880
営業外収益		
受取利息	57	684
その他	733	622
営業外収益合計	791	1,306
営業外費用		
支払利息	2,834	1,583
支払手数料	2,000	152
社債発行費	-	4,917
その他	612	128
営業外費用合計	5,446	6,781
経常利益又は経常損失(△)	6,832	△38,354
特別損失		
出資金清算損	-	9,951
減損損失	-	25,797
その他	-	5,920
特別損失合計	-	41,668
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	6,832	△80,023
法人税、住民税及び事業税	517	2,142
法人税等調整額	-	9,466
法人税等合計	517	11,608
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,315	△91,632

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	シェアードワーク プレイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	924,932	160,893	1,085,826	-	1,085,826
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	924,932	160,893	1,085,826	-	1,085,826
セグメント利益又は損失(△)	250,730	16,019	266,750	△255,262	11,487

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(保有目的の変更)

第1四半期会計期間において、シェアードワークプレイス事業の賃貸用不動産として保有していた有形固定資産86,431千円を保有目的の変更により、cowcamo (カウカモ) 事業の販売用不動産に振替えております。これにより、シェアードワークプレイス事業の資産が86,431千円減少し、cowcamo (カウカモ) 事業の資産が同額増加しております。

当第3四半期累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	シェアードワーク プレイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,162,242	273,780	1,436,022	—	1,436,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,162,242	273,780	1,436,022	—	1,436,022
セグメント利益又は損失(△)	305,834	34,588	340,422	△373,302	△32,880

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(賃貸用不動産の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期会計期間において、賃貸用不動産の取得を行いました。

これにより「シェアードワークプレイス事業」のセグメントの資産が224,759千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェアードワークプレイス事業」及びセグメントに帰属しない全社資産において、減損損失を計上しています。なお、当第3四半期累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

(単位：千円)

シェアードワークプレイス事業	9,749
セグメントに帰属しない全社資産	16,047
計	25,797

(重要な後発事象)

該当事項はありません。